

こちらう奈良市

東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第 44 号

令和 2 年 11 月 1 日 発

編集・発行 東部出張所 4735
奈良市大柳生町
TEL 93-0001
FAX 93-0061

こんにちは、所長の野口です。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、これから冬に向けて懸念されるのは季節性インフルエンザとの同時流行です。

インフルエンザとコロナウイルス感染症は症状が似ているため見分けが付きにくいと言われています。同時に流行すれば地域医療が混乱する可能性があり、早めの対策が求められています。

10月1日からインフルエンザの予防接種が全国で始まっており、原則として65歳以上の高齢者が優先され、次いで26日から医療従事者や持病のある人、妊婦、小学2年生までの子どもが優先的に受けられます。新型コロナウイルスの影響により、予防接種希望者は例年より多いとみられています。

インフルエンザは毎年、国内で1千万人が感染すると言われており、幸い今年は今時点で感染者数は例年よりかなり少ない状況となっております。新型コロナウイルス対策でマスクや手洗いなどが徹底されていることに加え、国内外で人の移動が制限されている影響が大きいようです。

インフルエンザの症状はと言いますと、典型的なものでは、発病は急激で高度の発熱、頭痛、腰痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状が現れ、これらの症状と同時に、あるいはやや遅れて、鼻汁、咽頭痛、咳などの呼吸器症状が現れます。熱は急激に上昇して、第1〜3病日目には、体温が38〜39度あるいはそれ以上に達した後、諸症状とともに次第に緩解し、1週間程度で治癒に向かいます。発症の可能性がある場合は、すみやかに医療機関で診察を受けてください。

インフルエンザと診断された場合は、安静にして、休養をとるようにしてください。特に、睡眠を十分にとることが大切です。

この冬、地域の皆さまが健康で楽しい家庭生活が送れますよう、「ご注意ください」です。よろしくお願いいたします。

東部出張所

職員のコーナー

こんにちは、堤 隆照です。

東部出張所住民係で勤務させていただき6カ月が過ぎようとしています。今回は、東部地域の印象を述べてみたいと思います。緑が多くきれいな空気が実感することができ、清々しい気持ちで仕事をすることができます。また、このような環境で育てられたキュウリ、ナス、ミニトマト、シソ、トウガラシ等は、品質、鮮度、味、歯ごたえ、あらゆる面で近所のスーパーとは比べものにならないもので、地域の特産物だと思えます。

次に交通についてです。般若寺の交差点を過ぎると、そこはもう別世界に、朝のラッシュも関係無く急にスムーズに流れ出す、あおりや強引な割り込みは一度もありません。自分自身も、坂やカーブの走行に気をつけて、周りの車両に迷惑をかけないよう運転しています。

また、地域の方々は、穏やかで友好的な方が多く、職員の誰かと顔見知りであったりする事もよく有り、何度も和らいだ気分にならせて頂きました。本庁では滅多に無いことです。

私たちは、東部地域の豊かな自然を生かし、地域の活性化を図っていかねばならないと思えます。私も出来るだけ多くの知識や経験を積み、地域に貢献したいと思えます。

地域おこし協力隊が

任期満了を迎えます

当出張所で平成29年度より活動しています、3名の地域おこし協力隊員は9月末から11月末にかけて3名が順次任期満了を迎えます。本来ですとお世話になりました地域の皆様へ3年間の御礼や活動内容を直接させていただきたいところですが、新型コロナウイルスの影響を踏まえ報告会は見送ることになりました。そこで今月号は、「この誌面とは別刷りで、活動報告書として「任期終了報告だより」を発行し3年間の取組を報告させていただきます。地域の皆様におかれましては、残り少なくなりました任期ではありますが本事業へのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また次年度以降の地域おこし協力隊採用にあたり地域の現状を知ってもらい、起業・定住のきっかけ作りとすることを目的に、平成31年度より創設された「おためし地域おこし協力隊」を任用し、2泊3日の里山体験ツアーを今月初旬に開催する予定です。この内容につきましては後日この誌面にて報告させていただきます。

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、10月14日現在のものになります。



しまろくん
©奈良市観光協会